

40歳、無所属。子どもにツケをまわさない！

県政に関するご提言から身近なご相談まで、ご意見をお寄せください！

# 本人 すがわら文仁

発行者 菅原文仁（無所属県民会議）  
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F  
TEL/FAX 048-432-3585  
HP sugawarafumihito.com  
Email mail@sugawarafumihito.com



「すがわらレポート」は、定期的な発行する気軽な県政報告です。

**菅原文仁 プロフィール** 【略歴】昭和50年7月30日生まれ(40歳) 戸田市立美谷本小学校・美笹中学校卒 埼玉県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許取得) 明治大学大学院修了(公共政策学修士) 元社会体育会代表 【政治歴】平成17年~23年 戸田市議会議員(2期) 平成23年 県議会議員に初当選 平成27年再選 【所属】会派「無所属県民会議」総務会長 青年地方議員の会副会長 埼玉県体操協会副会長 埼玉坂本龍馬会幹事 日本自治体危機管理学会会員 【趣味】読書 史跡巡り B級グルメ探し 【特技】バク転 のび太並みの早寝 【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なせば成らぬ、何事も」 【家族】父・母・妻・娘(2歳)・息子(0歳)・犬1匹 【夢】努力した者が報われる社会を実現すること 【自宅】戸田市美女木8-21-6

## ご挨拶

まだまだ暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

新たな任期の本格的なスタートとなった6月定例会は、知事への問責決議が自民党県議団単独で可決されるなど、知事選挙前の波乱含みで閉会しました。

今定例会では、7名から10名にパワーアップした会派「無所属県民会議」の同志とともに、いまだに定額支給方式となっている議員の交通費、いわゆる「費用弁償」を、実費払いにする条例改正案を作成し、議会に提案いたしました。しかし、自民党県議団から「継続審査を求める動議」が提案され可決し、次の議会に持ち越されることになりました。

埼玉県議会の現在の支給方式は、まさに「つかみ金」のような状態です。もし条例が改正されれば、概算で1年間に約3,900万円もの財源を生み出す事ができます。議案はたなざらとなってしまいましたが、あきらめることなく可決に向けた行動を続けます。

この他、私が作成した意見書「警察官および警察非常勤職員の増員を求める意見書」が採択され、埼玉県議会として政府に警察官増員を要望するなど、公約の実現に向けて具体的に動く事ができました。

これからも、県議会改革をはじめ、公約で掲げた埼玉県の「安心、安全、成長、自律」そして戸田市の発展に向けた提案を、あらゆる角度から着実に進めてまいります。

残暑厳しい折、くれぐれも熱中症には気を付けていただき、皆様のご健勝とご自愛をお祈り申し上げます。

菅原文仁

## すがわら文仁 最新ニュース①

### 埼玉県知事選挙で上田きよし圧勝！



候補者名	上田清司	塚田桂祐	柴田泰彦	石川英行	武田信弘
得票(全体)	891,822	322,455	228,404	49,884	32,364
得票(戸田市)	14,716	4,666	3,389	1,052	543

現職知事の上田清司氏が、他候補の猛追を寄せ付けず、89万票以上の得票を賜り当選。戸田市でも2位の候補にトリプルスコア以上をつけて勝利しました。酷暑が続いた選挙戦では、すがわらも連日マイクを握り県民にご支援を訴えました。

統計からみる埼玉県と戸田市	総人口(人)	人口増減率(増)	平均年齢(歳)	市町村所得(万円)	生活保護率(%)	納税率(%)	市町村道舗装率(%)	下水道普及率(%)	犯罪率(全県)	人身事故発生率(全県)
埼玉県	H27.7 7,252,298	2.2	44.5	278.5	1.3	93.5	69.6	78.6	11.7	4.6
戸田市(議選)	H27.7 134,057	1位 20.2	1位 39.7	1位 355.0	7位 1.6	14位 94.8	1位 99.0	13位 87.2	3位 16.4	11位 5.5

※総人口以外は「統計からみた埼玉縣市町村のすがた2015」より引用

## すがわら文仁 最新ニュース②

### 新聞各紙が大きく掲載！

無所属県民会議が提案した条例改正案が継続審査となったことが、新聞各紙に取り上げられました。すがわらは改正案作成の中心メンバー。議会改革に対するマスコミの関心の高さがうかがえます。

県議会で、議員の交通費などにかかる費用弁償の支給を現状の「定額」から「実費」に変更するかどうかの議論が停滞している。他府県では、定額が過剰支給を招いているとして実費に切り替える機運が高まっているが、埼玉県議会では結論が先延ばしされそうだ。

## 交通費の実費化 先送り

県議会事務局によると、費用弁償は議員が本会議や委員会に出席する度、自宅から議会までの距離に応じて3段階の金額(1日あたり6,000円、8,100円、1万2,000円)が支給される。2013年度の平均出席日数を基に試算すると、実費と定額より約3901万円削減できるといふ。費用弁償を巡っては、全国の都道府県議会でも定額支給の取りやめが進んでおり、6月現在、11府県が実費支給にしたり、廃止を決めたりしている。



## 6月定例会報告

6月22日から7月10日を会期とする平成27年6月定例会についてご報告いたします。

知事提出議案としては、5,275万円を増額補正する「平成27年度埼玉県一般会計補正予算」をはじめ、14件の議案が提出され、13件を原案通り可決・承認し、1件(介護保険法施行条例の改正案)が継続審査となりました。

議員提出議案としては、無所属県民会議が提案した「埼玉県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例」の改正案等、2件が提出され、1件を可決し、1件(費用弁償等に関する条例の改正案)が継続審査となりました。

無所属県民会議は、慎重審議の上、すべての議案に賛成いたしました。 詳細は次ページ▶▶

## 本人の活動写真



## 統計からみる埼玉県と戸田市



### ▼知事提出議案の主な内容

#### 埼玉県一般会計補正予算

増額補正5275万円を議決しました。

平成27年度の一般会計予算の累計額

**1兆8,290億5,075万4千円**

#### ■ラグビーワールドカップ2019開催関連費用

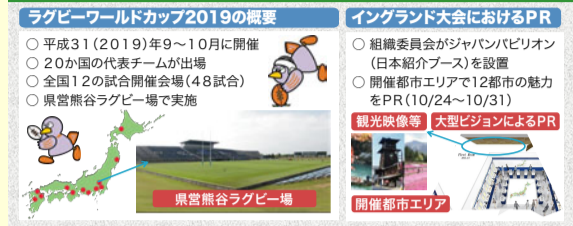
#### ラグビーワールドカップ2019の開催

**ラグビーワールドカップ2019の概要**

- 平成31(2019)年9～10月に開催
- 20か国の代表チームが出場
- 全国12の試合開催会場(48試合)
- 県営熊谷ラグビー場で実施

**イングランド大会におけるPR**

- 組織委員会がジャパンパビリオン(日本紹介ブース)を設置
- 開催都市エリアで12都市の魅力PR(10/24～10/31)
- 観光映像等 大型ビジョンによるPR
- 開催都市エリア



- ① 県営熊谷ラグビー場で開催される大会の準備費用の一部を公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会に対し3年に分割して支払う費用 **5,000万円**
- ② 秋に開催されるイングランド大会中にロンドン市内にパビリオンを設け、開催都市の文化、産業、観光などを広くPRする費用 **275万4千円**

#### 埼玉県学校設置条例の一部を改正する条例

#### ■県立入間わかさ高等特別支援学校を新設



県西南部地域の特別支援学校における児童生徒の増加に対応するため、旧入間高等学校の校舎を活用して、入間わかさ高等特別支援学校を新設するもの

### ▼議員提出議案の主な内容

#### 可決された意見書・決議

- 警察官の増員を求める意見書 **賛成**
- サイバーセキュリティ対策の強化を求める意見書 **賛成**
- 地方財源の確保と地方分権の更なる推進を求める意見書 **賛成**
- 諸外国等による農林水産物・食品の輸入規制の早期撤廃を求める意見書 **賛成**
- 入院中の重度障害者等への支援充実を求める意見書 **賛成**
- 認知症への取組の充実強化を求める意見書 **賛成**
- 「埼玉県知事の在任期間に関する条例」の遵守又は適正な手続を求める決議 **反対**
- 上田清司知事に対する問責決議 **反対**

### 党利党略の揚げ足取りには断固反対。

上田知事に対する問責決議には自民党県議団以外のすべての会派が反対しました。

知事は多選自粛条例の努力義務を守れなかったことに関して、反省と丁寧なお詫び、それを守ろうとした努力について何度も語り、選挙で県民に説明しご判断をいただくと述べました。

私はそれがすべてだと思います。決議文の内容についても、法的な誤解もさることながら、見るに堪えない誹謗の羅列になっており、上田知事を再出馬させまいとするための、選挙で自分たちが有利に戦うための政局を意識した決議です。可決されてしまいましたが、権威ある県議会の決議としてまったく相応しくないこの決議自体が、問責に値するのではないかと思います。



#### 会派として提出した意見書

- **菅原提案** 警察官の増員と警察非常勤職員の拡充を求める意見書(案) **一部採択**
- **菅原提案** 下水道施設の耐震化と長寿命化の推進を求める意見書(案) **不採択**
- 北朝鮮送金全面禁止を求める意見書(案) **不採択**

#### 埼玉県議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

現在、埼玉県議会の費用弁償は、距離に応じて6,000円～10,200円を支払う「定額支給方式」となっております。例えば、議員が県議会の隣に住んでいても6,000円定額で支給されることとなっており、実際に要した費用とかけ離れているのが現状です。

そこで、私たちの改革案では、この支給方式を一般職員の旅費支給制度を準用するように条文を変更し、以下のように現実に要した実費のみ支払われる方式としました。

#### 【現在】定額支給方式

自宅からの距離	支給額
10km以内	6,000円
10km～50km	8,100円
50km以上	10,200円



#### 【改正案】実費支給方式 (一般職員旅費支給に準拠)

種別(一例)	支給額
鉄道賃	運賃分
車賃(バス)	50円/1km
自家用自動車	18円/1km

この改革案は、自民党県議団、公明党県議団を除くすべての会派の賛同を得ることができました。しかし、常任委員会における審議では、自民党県議団から時間をかけて議論する問題として「継続審査を求める動議」が提案されました。我が会派の並木議員も「採決を求める動議」を提案して応戦しましたが、過半数を持つ自民党県議団に押し切られる形で継続審査が可決されてしまいました。

ちなみに自民党県議団は、時間をかけて議論する問題と言いながら、2日間もある審議日程で1秒も質問を行いませんでした。結果として議案は宙に浮き、6月議会で賛否を問う機会が失われました。審議は残念ながら、次の議会に持ち越されることになりました。

### まずは、自ら襟を正すこと。

費用弁償の見直しについて、埼玉県議会は全国的にもかなり遅れております。

例えば、大阪府議会ではすでに廃止し、実費支給とした県議会は10まで増えました。首都圏では神奈川県議会と千葉県議会がすでに実費支給となっております。埼玉県内においても、63市町村議会のうち半数以上の39の議会が費用弁償をすでに廃止しています。

議員は、ことあるごとに行政の支出に根拠を求め、無駄削減を訴えます。そして行政もそれに応えるべく、まさに乾いた雑巾を絞るような努力をしています。しかし、それを質す側が、根拠の乏しい「お手盛り」の制度を放置するようでは、何の説得力もありません。なにより、県民から理解を得られるはずがありません。

今後、さらに各会派に働きかけを強め、議案に対する理解を深めていただき、一刻も早い実現を求めてまいります。



### 本人の一行日記

#### 5月(皐月)

- 2日 (市内) 事務所にて用務
- 3日 (甲府市) A J G体操競技大会に出席
- 6日 (市内) 市内スポーツ団体懇親会に出席
- 8日 (市内) PTA歓送迎会に出席
- 10日 (都内) 市議結婚披露宴に出席
- 11日 (市内) 事務所にて用務
- 12日 (県議会) 無所属県民会議団会議
- 13日 (市内) 事務所にて用務
- 14日 (市内) 事務所にて市民相談
- 15日 (県議会) 各会派代表世話人会に出席
- 17日 (市内) 町会運動会に出席
- 18日 (市内) レクリエーション協会総会に出席
- 19日 (県議会) 当選議員初顔合わせ
- 20日 (県議会) 埼玉新聞社からの取材
- 22日 (市内) 戸田商工会総代会に出席
- 23日 (市内) 市内小学校運動会に出席
- 24日 (市内) グランドゴルフ大会開会式に出席
- 25日 (都内) 明治大学政治経済学部にて講義
- 26日 (県議会) 5月臨時議会
- 27日 (県議会) 議会運営関連の調査ヒアリング
- 28日 (県議会) 文教委員会に出席
- 30日 (市内) 小学校の運動会に出席

#### 6月(水無月)

- 1日 (県議会) 議会運営関連の調査ヒアリング
- 3日 (市内) 事務所にて用務
- 4日 (川口市) 地域機関連絡会に出席
- 5日 (市内) 戸田市体育協会総会に出席
- 7日 (市内) 笹目地区環境対策協議会総会に出席
- 8日 (市内) 本町商店会総会に出席
- 9日 (市内) 県土整備事務所と河川整備打ち合わせ
- 10日 (市内) 事務所にて用務
- 13日 (市内) 善循環の輪 埼玉の集いに出席
- 14日 (市内) セントラル野球大会開会式に出席
- 15日 (県議会) 議会運営委員会
- 17日 (市内) 事務所にて用務
- 18日 (市内) 事務所にて用務
- 19日 (市内) 戸田市フェイスブックの会懇親会に参加
- 21日 (市内) 戸田市身体障害者福祉会総会に出席
- 22日 (県議会) 本会議6月定例会開会
- 23日 (さいたま市) 上田知事と意見交換会
- 24日 (県議会) 旧会派打ち合わせ会議
- 25日 (市内) 戸田市教科書展示会に参加
- 26日 (県議会) 本会議一般質問
- 28日 (市内) 町会運動会に出席
- 29日 (県議会) 本会議一般質問
- 30日 (県議会) 本会議一般質問

#### 7月(文月)

- 1日 (県議会) 本会議一般質問
- 2日 (県議会) 本会議一般質問
- 3日 (市内) 子供会・PTA懇親会に出席
- 5日 (市内) 事務所にて用務
- 6日 (県議会) 文教常任委員会
- 7日 (市内) 議会運営関連の調査ヒアリング
- 8日 (県議会) 自然再生・循環社会対策特別委員会
- 9日 (県議会) 会派打ち合わせ
- 10日 (県議会) 本会議6月定例会閉会
- 11日 (さいたま市) とだわらび倫理法人会式典に出席
- 12日 (市内) 2町会神輿連合渡御に参加
- 13日 (鹿児島市) 議会運営委員会視察研修
- 14日 (宮崎市) 議会運営委員会視察研修
- 15日 (宮崎市) 議会運営委員会視察研修
- 16日 (市内) 事務所にて市民相談
- 17日 (市内) 福祉団体に訪問相談
- 18日 (熊谷市) 国民体育大会関東ブロック大会に出席
- 19日 (市内) 3町会神輿連合渡御に参加
- 21日 (市内) 浦和競馬組合議会議会に出席
- 22日 (市内) 知事選挙打ち合わせ
- 23日 (さいたま市) 知事選挙出陣式に参加
- 24日 (市内) 町会盆踊り大会に参加
- 25日 (さいたま市) 大宮駅前マラソン駅頭に参加
- 26日 (市内) 夏季学生インターンシップ面接会
- 27日 (県議会) 戸田の会との県政勉強会
- 28日 (市内) 事務所にて用務
- 29日 (市内) 町会盆踊り大会に参加
- 30日 (市内) 知事選挙カー一街宣活動
- 31日 (市内) すがわら文仁県政報告会

### 編集後記

8月9日の知事選挙では上田清司知事が圧勝し、県民の意思は明確に示されました。しかし、自民党県議団との対立が収まる見通しは立っておらず、今後しばらくは予断を許さない状況が続くと思われます。

今回の対立の主な原因は知事の去就という極めて政局的なものでした。これまでの約1年半の間、自民党県議団は、様々な議案にブレーキをかけて、いわゆる「上田降ろし」を数々と企てました。中には県民に直接影響及ぼした議案もあり、その責任は大変重いものです。

過半数を占める最大会派として選挙結果を尊重し、これまでのような数の力に頼った議会運営は改めるべきです。まして、一部の長老議員が面子や体裁に固執することで議案審議が滞り、県民生活がないがしろにされることは許されません。

私も議会運営委員の一員として、個々の政策における活発な論議は大切にしつつ、感情に流されることのないよう自制しながら、議会が正常に機能するよう微力を尽くして参りたいと思います。

まじめな政治活動のためのカンパのお願い

しがらみのない無所属で活動する菅原文仁の政治姿勢にご理解を頂ける個人の皆様からのカンパを募集しております。賜りましたカンパは真面目な政治活動のために大切に活用させていただきます。カンパをお寄せくださいました際は、お手数ですが①お名前、②ご住所、③電話番号、④金額を、当事務所までご一報ください。(外国の方からの寄付は受けられません。) 振込口座:ゆうちょ銀行 口座番号:00180-1-782048 (他の金融機関からの振込) 店番019 店名〇一九店 口座番号:0782048 「すがわら文仁サポーターズ」